

科目ナンバリング		U-LAS01 10005 LJ38							
授業科目名 <英訳>	東洋史 I Oriental History I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 辻 正博				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	月2/月3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>「中国を歴史的に理解するための10章」  わが国と中国とは、歴史的にも地理的にも、極めて深いつながりを有している。たとえば、われわれが日常的に使用している文字にしても、漢字は中国から伝来したものであるし、かな文字が漢字に由来したものであることは衆知のことであろう。  にもかかわらず、中国のことをよく知っているか、というと全くそんなことはない というのが実情であると思う。この講義では、中国を歴史的に理解することを目的として、10の観点から解説を試みたい。これまで不可解として遠ざけてきた中国のことが、少しでもわかるようになれば幸いである。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
巨大な隣国・中国について、歴史的観点からの理解を深める。									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<p>基本的に以下のプランに従って講義を進める。但し、状況に応じて内容を適宜変更することがある。なお、初回は「ガイダンス」にあて、講義内容の概略について説明を行う。  第2週目以降は、以下の各テーマについて1~2週を費やし、合計15回(フィードバックを含む)の授業を行う。</p> <p>第1講 中国とChina 「中華」とは何か  第2講 「黄河文明」の歴史的意味  第3講 「礼」とは何か 前近代中国の社会秩序  第4講 家族制度の原理とその矛盾点  第5講 皇帝制度の誕生とその展開  第6講 中華の統一と分裂  第7講 中国史の時期区分  第8講 人材選抜制度  第9講 文書主義と記録  第10講 王朝の正統性と歴史書  まとめとフィードバック</p>									
<b>[履修要件]</b>									
本講義は、同一内容のものを週2回開講するので、いずれか1つのみを履修登録すること。									
<b>[成績評価の方法・観点]</b>									
平常点50%(課題・クイズ40%、出席と参加の状況10%) + 期末レポート試験の成績50%									
----- 東洋史 I (2)へ続く -----									

## 東洋史Ⅰ(2)

### [教科書]

本学の学習支援システム等を通じて、講義資料を配布する。

### [参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

### [授業外学修(予習・復習)等]

(1) 高等学校の「世界史B」「世界史探究」教科書内容を理解していることを前提として授業を進めますので、よく復習しておいてください。  
(2) 講義資料は、原則としてLMSを通じて配布します。事前にダウンロード・印刷して読み込んでおくことを強くお勧めします。

### [その他(オフィスアワー等)]

文系・理系を問わず、向学心に溢れた皆さんの聴講を歓迎します。

### [主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部